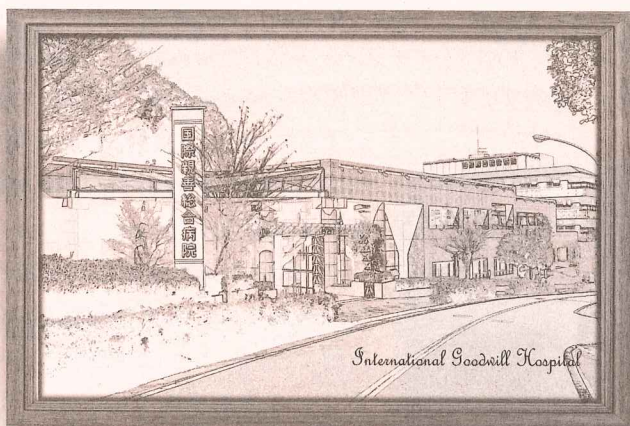


病院だより



国際親善総合病院のルーツ その3

Hiromichi Yamada

山田 裕道

食中毒にご注意を！

Yasuko Takazawa

高澤 康子

4月に新人看護師3名を迎えました！！

Chikako Takeda

竹田 睦子



国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045(813)0221(代表)
FAX 045(813)7419(総務課)

当院ホームページをご覧ください。

<http://shinzen.jp>



国際親善総合病院のルーツ

その3

現在病院正面玄関から入って突き当たりの場所に、金色に輝く1メートル四方の銘板が展示されています。前号、前々号で述べてきました当院のルーツがここにまとめて刻まれています。

1863（文久3）年に設立されたTHE YOKOHAMA PUBLIC HOSPITAL（ザ ヨコハマ パブリック ホスピタル）。1866（慶応2）年に設立されたTHE BLUFF（DUTCH）HOSPITAL（オランダ海軍病院）。そしてこの病院をオランダから譲り受け、名称も変更し、公共病院として再出発した1867（慶応3）年のTHE YOKOHAMA GENERAL HOSPITAL（ザ ヨコハマ ジェネラル ホスピタル）の名前があります。



ついでこれらの病院の功労者の方々の名前があります。G. R. Jenkinsはイギリス人医師でPublic Hospitalの院長、DeMeyerはオランダ海軍軍医でGeneral Hospitalの初代院長、A. J. Wilkinはイギリス人貿易商、H. Grauertはドイツ人貿易商とともにGeneral Hospitalの運営に尽力した民間人です。1923年の関東大震災では病院は全焼

してしまいましたが、C. Dalton婦長とN. Little看護主任は病棟に迫りくる火の手から入院患者を無事に避難誘導しました。1935年のFranciscan Sisters of Maryは「マリアのフランシスコ修道会」のことで外国人5名、日本人1名の修道女たちが院内に呼ばれ、医療奉仕にあたりました。

この銘板は当院と起源を同じくするTHE BLUFF HOSPITAL YOKOHAMA（山手病院）の玄関ホールに掲げられていましたが、現在はそれを継承するBluff Clinicが所有、保管しており、このたびの当院150周年記念事業に賛同いただいております。

食中毒にご注意を!

厚生労働省の食中毒統計資料によると、平成23年の全国食中毒月別発生件数は、9月が139件(13.1%)と一番多く、次いで6月の111件(10.5%)、12月の101件(9.5%)の順でした。

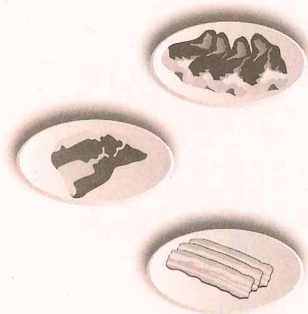
食中毒を引き起こす原因は大きく分けて「細菌」「ウイルス」「自然毒」があります。細菌による食中毒は5月～9月にかけての夏季に多く発生しています。これは、細菌が高温多湿を好み、梅雨から9月頃にかけて増殖が活発になるためです。

病因物質別では一番多かったのが、カンピロバクター 336件(31.6%)、次いでノロウイルス 296件(27.9%)、サルモネラ属菌67件(6.3%)とのことです。

数多くある細菌の中でも、発生件数の多いカンピロバクターは鶏や牛などの家畜の腸にいる細菌です。少量でも感染し、菌が体内に入ると2～7日位で発熱や腹痛、下痢、吐気等の症状が現れます。又、微好気性(わずかな酸素があるところで増殖する性質)で、低温(4℃以下)でも生存できるので、冷蔵庫の過信も禁物です。腸にいる細菌なので、肉に付着する菌をゼロにすることは難しいですが、熱に弱いので、十分加熱して食べれば食中毒にはな

りません。焼き肉やバーベキュー等自分で焼きながら食べる場合も十分加熱し、生肉に触れた箸で喫食することも避けましょう。細菌は目に見えませんが、日頃の心掛けが大切です。

食中毒予防の3原則は菌を「**つけない!**」「**増やさない!**」「**やっつける!**」です。



— 2A病棟紹介 —

4月に新人看護師3名を迎えました!!

2A病棟は、消化器外科・呼吸器外科・婦人科を主体にした外科系病棟です。主に手術を受ける方の他、気管支鏡検査やがん化学療法など、さまざまな検査や治療を受ける患者さんが入院されます。



病棟では看護師だけでなく管理栄養士からも手術後の食事や退院後の食生活についてパンフレットを用いての栄養指導、病棟担当の薬剤師からは患者さんへのお薬の説明なども行われています。また、80歳以上の高齢の方の手術も多いため、術後早期の機能回復リハビリを理学療法士が行うなど他職種のスタッフを含めたチーム医療をすすめています。その際、看護師は調整役となり日々カンファレンスを行い患者さんの治療や看護に取り組んでいます。

病棟スタッフは看護師28名、看護助手8名、病棟クーク1名で構成されておりその中に3名の新人看護師がいます。4月に入職し患者さんやご家族との関わり他職種との関わりの中で多くのことを学び、患者さんが安心して治療が受けられるように日々努力しています。入職して3か月が経ち、新人も当初の緊張した堅い表情がなくなりやさしい笑顔で患者さんと接しています。患者さんから感謝の言葉や励ましの言葉をいただき素直に喜び、励みにして頑張っています。

これからも私たちの病棟では、入院される患者さんやご家族との対話を大切に、お一人お一人が入院生活に少しでも安心感を持てただけようあたたかい看護を実践していきたいと考えています。

2A病棟看護課長 竹田 睦子